

2026 年度 名古屋真宗学院入学案内



真宗本廟にて（前期一泊研修）

竊かに以みれば、
難思の弘誓は難度海を度する大船、
無碍の光明は無明の闇を破する恵日なり。

『教行信証』

名古屋真宗学院

〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘二丁目 8 番 55 号
TEL 052-331-2468 FAX 052-321-5845

真宗学院

学院長 安田 雅
(名古屋教務所長)

名古屋真宗学院は、親鸞聖人が仏教の至極として開顕された浄土真宗の教えに基づき、地方教化の振興をはかり、大谷派宗門の教師たるにふさわしい人材の養成を目的として開院しています。

真宗大谷派の教師になるということは、親鸞聖人の立教開宗の精神と、宗門存立の本義を現代社会に闡明する使命を果たすために、自らの生涯を捧げる者になるということあります。

本学院は、充実した講師陣により各教科それぞれ熱心に学習・指導にあたっており、ここで所定の課程を履修し、かつ教師修練を受けることによって、大谷派の教師資格が取得できます。また、すでに教師資格を取得されている方が、あらためて希望される場合には聴講制度もあります。

特に、本学院の授業時間は就職・就学をしながら受講できるよう夜間に設定していますので、皆さまの入学をお待ちしています。

学院の歩み

名古屋教区では、宗門にとって、教学振興のための諸施策が、すでに江戸期より盛んにおこなわれてきた。なかでも、青木楽聞翁による閲蔵長屋設立[1827(文政10)年]に端を発した尾張教校は尾張学園をはじめとする数多くの宗門関係の教育機関のさきがけとなった。さらに、住田智見師、稻葉円成師などによる教学教化の研究センター（尾張国真宗教学研究会 本山辞令）が設立せられ、自信教人信の信条をモットーとした、いわゆる尾張教学の振興が推進せられるに及んだ。これと併行して、その信条を發揮するための実践具現の道場として、大正末期から昭和の初期にかけて、名古屋別院境内地にあった旧制尾張中学（現名古屋大谷高校）や真宗専門学校（現同朋大学）の校舎を利用し、夏期休暇中約1か月間、真宗教学の宣揚と地域社会に貢献しうる有為な教師養成を目的とした「真宗夏期学校」が開設せられるに至った。

開設当初は学場長浅井徳城師、玉井康制師を中心に諸師先学が集い、宗・余剰を担当する5学級（終業年限5ヶ年）を編成し、就学生は200名を越えるほどの盛況ぶりであった。その後第2次大戦中は、余儀なく学場閉鎖となつたが、戦後間もなく再開された。

1950(昭和25)年頃、条例のもとに、3年制度による指定学校「名古屋真宗学院」（教区設立）として、宗派公認による教師養成機関となり、まもなく社会の要請に応えつつ、夜間開設のシステムに切りかえられた。

1981(昭和56)年度から、主要教区内に設置されている真宗学院関係者からの強い要請により、既設学院の自主性が認められ、それぞれの学院内において、真宗学院の修了者には大谷派教師無試験検定資格が与えられるようになり、重要な責務が課せられるようになった。

現在、当名古屋真宗学院は、学院生に対して教区内の気鋭の指導教官を組織し、現代社会の多様な諸問題に応えるべく、教師養成機関としてその実を發揮し、合わせて教学教化の充実のため努力を傾注している。

授業科目

	2026年度		2027年度		2028年度	
曜日	前期	後期	前期	後期	前期	後期
月	真宗教義 I (12)	真宗教義 I (9)	三経 II (12)	真宗教義 VII (9)	真宗教義 III (12)	人権教育 IV (9)
	真宗教義 IV (9)		真宗教義 V (9)		三経 I -1 (9)	
火	教化学 III (9)	三経 I -2 (9)	真宗教義 II (12)	教化学 I (9)	教化学 V (12)	真宗史 II (9)
	真宗教義 VI (12)		七祖 I (9)		仏教文化 II (9)	
水	諸宗概説 I (12)	諸宗概説 I (9)	インド仏教概要 I (12)	教化学 IV (9)	諸宗概説 II (9)	インド仏教概要 II (9)
	仏教文化 I (9)		教化学 II (9)		七祖 II (12)	
木	インド仏教史 (9)	インド仏教史 (9)	中国仏教史 (9)	中国仏教史 (9)	日本仏教史 (9)	日本仏教史 (9)
	人権教育 I (12)		人権教育 II (12)		宗教法規 (12)	
金	声明 I (12)	声明 I (9)	声明 II (12)	声明 II (9)	声明 III (12)	声明 III (9)
	真宗史 I (9)		人権教育 III (9)		三経 III (9)	

*前 期 7週間35日・後 期 3週間15日

*“()”内の数字は授業時間数

年間予定

3月	入学試験
4月	
5月	入学式・始業式 前期授業（35日間）
6月	
7月	前期一泊研修会（1泊2日） 前期教師修練（2年生） 後期一泊研修会（1泊2日）
8月	
9月	
10月	後期授業（15日間）
11月	
12月	卒業論文提出（3年生）
1月	卒業論文口頭試問（3年生） 後期教師修練（3年生）
2月	
3月	卒業式・教師補任式（3年生） 修了式（1・2年生）

2026年度 名古屋真宗学院生募集要項

目 的	親鸞聖人が開闢された浄土真宗の教えに基づき、仏祖崇敬の念をもつて教法を聞思し、儀式執行の行儀を修得して、本派の教師たるにふさわしい人材を養成することを目的とする。
履 修 期 間	3年間
年間開院期間	入学式・特別講義 5月7日（木） 前期 5月8日（金）～6月25日（木）（7週35日） 後期 10月5日（月）～10月26日（月）（3週15日） <授業時間> 18時～21時 土・日・祝日は休院日 ※ただし、7月4日（土）～5日（日）・9月26日（土）～27日（日）に一泊研修会を実施予定
受 験 資 格	高等学校卒業、または高等学校卒業と同等の学力を有すると認められた者
出 願 期 間	3月2日（月）～3月13日（金） 平日9時～16時30分 土・日・祝日を除く
出 願 手 続	入学願書(所定用紙)・写真(入学願書添付用以外に1枚、4cm×3cm)・最終学校卒業証明書又は在学証明書に受験料5千円を添えて事務局まで提出。
入 学 試 験	3月24日（火） 16時 名古屋教務所にて 筆記試験（国語・社会に関する問題）・面接（再面接も有）
入 学 料 金	入学金5万円 授業料12万円（1年次）・14万円（2年次）・14万円（3年次） 研修費4万円／年 施設設備費3万円（教区外のみ）／年
聴 講 生	入学金3万円 聴講料4万円
備 考	①未得度受式者は、在学1年次に必ず得度式を受けること ②聴講生制度あり（基本的に名古屋真宗学院卒業生に限る） ※聴講生は面接を行う
連 絡 先	〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘二丁目8番55号 真宗大谷派名古屋教務所内 名古屋真宗学院事務局 TEL 052-331-2468 FAX 052-321-5845